

香川県地震・津波被害想定調査(本調査)の概要

1. 調査目的

内閣府が実施している南海トラフの巨大地震に関する検討結果や、香川県地震・津波被害想定基礎調査の成果等を踏まえて、本県の地震・津波被害想定の見直しを行い、今後の本県の地震・津波対策の基礎資料とする。

2. 想定地震・津波の震源モデル・波源モデルの設定

香川県地震・津波被害想定調査委員会の意見等を踏まえ決定。

3. 想定時間帯

内閣府の検討結果を基本に、想定される被害の異なる特徴的な場面を設定。

⇒(案) ①冬の朝5時 ②秋の昼間12時 ③冬の夕方18時

4. 被害想定項目(人的被害・物的被害)

内閣府の検討結果を参考に、想定される大規模地震による被害に対して取り組むべき課題を認識し、その防災・減災対策を検討するための基礎資料となる事象について、定量的又は定性的評価を実施。(資料5の付属参考資料参照)

- ・人的被害⇒建物倒壊による死傷者数、津波被害による死傷者数 等
- ・物的被害⇒揺れによる全半壊棟数、交通施設等の被害箇所数 等

5. 経済被害(直接被害・間接被害)

被害想定結果を基に、経済被害について推計。

6. 被害シナリオの作成

各種被害の発生を時系列的に捉えて災害の全体像を把握し、さらに、災害応急対策の実施によって、事態がどのように推移していくかを具体的に示したシナリオを作成。

7. 防災・減災対策の課題検討及び提案

地震・津波被害想定調査結果に基づき、地震・津波被害に関する特性を総合的に評価し、防災・減災上の問題点及び課題を抽出し、今後取り組むべき防災・減災対策を提案。

8. 津波CGの作成

津波が沿岸に押し寄せるイメージを2次元及び3次元で表現したCGを作成。